

【回答数 252件／家庭数】 ご協力いただきありがとうございます。

○肯定的内容のご感想 229件

- ・午前中で終わるので親も子供も負担が少なくてよかった。
- ・ミマモルメの配信がよかった。
- ・学年ごとにプログラムが分かれていたので観覧しやすかった。
- ・前日のうちに延期を判断して連絡をもらえたから当日の朝に慌てることなくよかった。
- ・テントの設置や休憩時間の確保など、熱中症対策がしっかりされていて安心した。
- ・子供たちが他の学年の時も大きな声で応援している姿に感動した。
- ・種目が少ない分、表現の練習に一生懸命取り組めた。子供たちの疲労感、先生方の負担も大きくなく充実した運動会だった。
- ・短距離走のレース順を示してくれたのが分かりやすかった。
- ・人数制限もなく、祖母を呼んで応援できた。車いす対応も助かった。
- ・その他、肯定的意見多種類多数。

●要検討内用のご感想 101件

・スピーカーからの音楽が聞き取りづらかった。四方に大型スピーカーを配置してほしい。(17)

・マイクの音が聞き取りづらい。アナウンスや児童の言葉が聞き取りづらかった。

→音響設備の改善を図る。(市教委に報告、修繕の要望をする。体育館音響修繕済)

・閉会式後、児童が下校したアナウンスもあると迎えを考えている場合は安心できる。

→片付けや下校指導もあるため、閉会式終了時点でアナウンスは終了する。ICT タグの利用をお願いする。

・近隣への配慮もあるかもしれないが、短距離走の時に音楽をかけるともう少し盛り上がる演出になるのではないか。

→競技中に音楽はかけているが、音響設備の改善を図った上で、音量や曲をかけるタイミングについても検討していく。

・種目(リレー、団体種目、応援団、得点種目 etc)、昔のような興奮と楽しさと相手を応援する気持ちを持てる運動会に。(79)

→本校では、体育科で習得した力を保護者・地域に発表する場として運動発表会を位置付けている。学習指導要領に示されている6つの運動領域のうち、陸上運動系領域と表現系領域で学んだことを「短距離走」と「表現」で発表することとしている。団体競技については該当する運動領域がないため、体育科の学習時間で練習を行ったり運動発表会で競技したりすることは適切ではないと考える。以前の運動会から運動発表会に変更になった経緯はあるが、「with コロナ」の学校生活をおくる中で、教育課程に基づく学習活動・行事の精選と適正化を行ってきた。年間の学習指導計画や行事予定を総合的に判断し、特別活動としての運動会ではなく、引き続き体育科の学習の運動発表会として実施することとした。

・リレーなどのチーム競技があるとより一生懸命取り組めるのではないかと思った。短距離走と表現のみだと足の遅い子は劣等感が残ってしまいそうだと感じた。高学年はクラス対抗リレーにしてみてもいい。

→午前実施を継続するため実施種目数は変えない。個人種目にするか団体種目にするかの判断は、当該学年の特性を踏まえて判断する。

・短距離走は男女一緒だと体格差がついてしまうので男女分けた方がいい。

→全学年が男女別のレース順で構成する。(レース順を男女交互か前半後半で分けるかについては学年裁量とする。)

・短距離走のゴールのところが短くて走り切れず危ない感じがした。

→スタート位置は変えず、学習指導要領解説を参考に走る距離を決定する。

(学習指導要領解説より:低30~40m、中40~50m、高40~60m)

・赤組、白組に分かれて競う競技や応援合戦がないこと、短距離走に順位を付けられないことが物足りなく感じた。

→着順を付けなくとも児童は各自で順位を意識し一生懸命走っているためねらいは達成できている。また近年児童数の増加に伴いレース数が増えている。更に着順判定をすると時間がかかるため行わない。

・準備運動はなぜなかったのか。

→時間短縮のため、各学級が安全に配慮し教室内で準備運動を実施した。

・日頃から子供たちの意見を聴くことを大切にしてみてもいいのではないか。子供たちが揃って「ありがとうございました」

という事は、子供たちに媚を出させること。

→各学年が児童の実態に応じて子供の声を聞いて表現に取り入れたり、実行委員が主体的に演技や言葉を考える機会を設定したりしている。

・子供たちの出来具合的には練習期間が短いのでは、と思うこともある。

→授業時数との関わりで練習時間として確保できる時間(期間)を設定した。今後も設定された練習回数の中で実施可能な内容を発表していく。

・マスク着用のままの子供たちの姿も気になった。

→現在、本校ではマスクの脱着について児童の判断に任せている。ただし、熱中症対策として必要に応じてマスクを外すよう促した。

・だいたい時間配分をプログラムに記載してもらいたい。(ミマモルメだと携帯が頻繁に鳴って気になる。)

→プログラムに種目ごとの時間配分を追記する。ただし、進捗状況により前後することがあるため、ミマモルメは継続する。

・低学年を一番初めに行った方が安全だったように思う。

→プログラムの順番は、移動や準備を考慮して中・低・高としている。次年度も継続する。

・日よけのテントが足りていない。教室で観覧し、出番になったら校庭に出てくればよい。

→購入や借用により、全児童が入れるだけのテントを用意する。

・テントがあると撮影の邪魔になるのでやめてほしい。子供たちが立ったり誘導する先生たちが前を横切ったり、撮影や観覧の妨げになっていた。

→主役は子供であるため、子供の動きを最優先する。ただし、次年度はビデオ撮影のスペースを確保することを検討する。

・長時間、同じ姿勢で座りっぱなしがきつい。

→テント数や動線確保、移動時間等に考慮した上で、児童椅子を利用できるように検討する。

・児童の応援席と保護者の観覧場所の境目が分かりづらかった。

→黄色い線で分けていた。今後は必要に応じて杭とロープを使い、より明確になるようにする。

・保護者の場所の取り合い。子供の観覧席の中まで行って声をかけたり写真を撮ったり迷惑な行動をしていた。大人数の中、席を陣取って日傘をしている方がいた。

→保護者のマナー、モラルについては個の自覚を促すとともに、PTAと連携し、向上に努める。また前後の入れ替えを呼びかけるなどの方法を検討する。

・見学者(保護者)は完全入れ替え制がよい。

→他学年も参観できるよう保護者の完全入れ替えは実施しない。

・保護者の移動もあるため、通路を広げてあるとかなり有効だと思う。

→トイレの数や移動時間、練習機会、道具の運搬、児童の待機場所等の環境を考慮し、会場の設計について検討する。

・午後から開催でもよい。

→各家庭の予定(でかける、習い事等)を考慮し、実施は午前中とする。

・開会・閉会式の時、クラスカードがあればよかった。(わが子の立ち位置が分かりやすい)

→学年のカードを用意する。

・子供たちのお手製の旗や運動発表会の看板がないのが寂しい。

→看板は作成したものを正門に設置する。旗は準備や設置、材料の用意の負担削減等の理由で作成しない。

・入場が正門のみだったため、開会式に入りきれなかった保護者もいた。「直前は混み合う」事前の周知があるとよい。

→事前の周知事項に入れる。

・コロナ前の6年生が下級生の面倒を見たり係で役割があったり経験させることも大切だと思う。

→6年生の参加の仕方を話し合う場を設定するなど、児童の主体性を尊重した運動発表会になるよう検討する。

・教員のTシャツの色などを統一してほしい。

→教職員統一のビブスの購入を検討する。